

## 刊行にあたって

患者さんは様々な歯科疾患で病院歯科や歯科医院を受診します。また、有病者で現在薬を服用している方も多く受診されます。その際、

- この疾患にはどのような薬を選択したらよいのだろうか
- どのような方法で薬を処方したらよいのだろうか
- 他の疾患で薬を飲んでいるが、どうしたらよいのか

といった不安をもっている先生方は少なくないと思います。

そこで、そうした悩みに答えるべく、よく・わかるシリーズで歯科用薬剤ガイドを企画しました。

内容は、比較的頻度の高い疾患を取り上げ、その疾患に対する知識や症例、処方例、投薬する際のキーポイントを記載しました。また、小児、高齢者、妊婦、腎透析者といった患者さんの対応にも触れています。

日常臨床において、診療室内でいつでも持ち歩けるサイズで、すぐ手にすることができる本書は、

わかりやすい文章（投薬・キーポイント等も含め）と

症例（経過や写真）や表によって、

薬の処方や処方薬が保険適応であるか

等、歯科における薬物療法を身近なものとして感じていただけるものと考えております。

本書によって、病院歯科の先生はもちろん、大学卒業直後の先生から、すでに開業されている先生方まで歯科疾患に対する投薬を理解していただければ、患者さんに安心、信頼される医療に結びつくものと考えております。本書がそれにお役に立てれば幸いです。

なお、本書の編集にあたっては、金子明寛先生（東海大学医学部）、中川洋一先生（鶴見大学歯学部）にご協力をいただきました。感謝申し上げます。